

# 盛岡市

## 小中学校適正配置状況調査

### 報告書

(地域と学校のかかわり)

平成23年4月

盛岡市教育委員会

I	調査概略	
1	目的	1 頁
2	調査実施期間	1 頁
3	回答の状況	1 頁
II	調査の内容と集計結果	
1	学校との連携及び共同事業の実施について	1 頁
2	児童・生徒の教育の場以外の役割	1 頁
3	今後望ましい学校のあり方	2 頁
4	町内会の再編について	2 頁
5	地域（町内会）とのかかわりについての意見・要望等	2 頁
III	考察	
1	学校との連携及び共同事業の実施について	2 頁
2	児童・生徒の教育の場以外の役割	3 頁
3	今後望ましい学校のあり方	3 頁
4	町内会の再編について	3 頁
5	地域（町内会）とのかかわりについての意見・要望等	3 頁
IV	まとめ	3 頁

## I 調査概略

### 1 目的

平成21年4月に策定した「盛岡市小中学校適正配置基本方針」を基に、旧盛岡市域の13地区町内会（今年度意見交換会を実施しなかった町内会）に対して、地域と学校のかかわりに関する状況を調査し、適正配置計画の策定に資することを目的に実施。

### 2 調査実施期間

平成22年11月30日から平成23年3月9日

各地区町内会各町内会長に対し、各地区町内会事務局を通じて照会を行い、日にちを指定して回収を行った。

### 3 回答の状況

13地区町内会（仁王，桜城，上田，緑が丘，松園，青山，みたけ，北厨川，西厨川，土淵，大慈寺，つなぎ，築川）151町内会中 132町内会から回答有り。（回収率87.4%）

## II 調査内容と集計結果

### 1 学校との連携及び共同事業の実施について

#### (1) 実施している町内会の動向について（複数回答可）

ア スクールガード	77/132	(58.3%)
イ あいさつ運動	84/132	(63.6%)
ウ 交通安全指導	85/132	(64.4%)
エ 町内美化活動	73/132	(55.3%)
オ 学校美化活動	13/132	(9.9%)
カ 世代交流	64/132	(48.5%)
キ その他	20/132	(15.2%)
※ 未記入	5/132	(3.8%)

キ その他の主な内容…総合的な学習への協力，スノーバスターズ，学校新聞等の回覧

#### (2) 連携事業実施にかかる課題等について

ア 課題 有	15/132	(11.3%)
イ 事業によって有る	34/132	(25.8%)
ウ 課題 なし	74/132	(56.1%)
※ 未記入	9/132	(6.8%)

「ア」及び「イ」の内容については別紙3-3「連携事業の課題」のとおり。

### 2 児童・生徒の教育の場以外の役割（複数回答可）

ア 地域活動の拠点	44/132	(33.3%)
イ 避難場所	94/132	(71.2%)
ウ 心のよりどころ	28/132	(21.2%)

エ スポーツ，文化活動の拠点	67 / 132	(50.8%)
オ その他	8 / 132	(6.1%)
※ 未記入	4 / 132	(3.0%)

### 3 今後望ましい学校のあり方

#### ①児童生徒がいなくなるまで学校を存続させる

1 番目	36	(27.3%)	4 番目	58	(43.9%)
2 番目	2	(1.5%)	5 番目	7	(5.3%)
3 番目	5	(3.8%)	未記入	23	(17.4%)

#### ②複式になる前に学校を統合する

1 番目	22	(16.7%)	4 番目	7	(5.3%)
2 番目	32	(24.2%)	5 番目	2	(1.5%)
3 番目	42	(31.8%)	未記入	29	(22.0%)

#### ③各学年1学級となった時点で統廃合する

1 番目	22	(16.7%)	4 番目	6	(4.6%)
2 番目	50	(37.9%)	5 番目	1	(0.76%)
3 番目	26	(19.7%)	未記入	27	(20.5%)

#### ④適正規模を満たさなくなった時点で学校を統合する

1 番目	37	(28.0%)	4 番目	27	(20.5%)
2 番目	14	(10.6%)	5 番目	3	(2.3%)
3 番目	29	(22.0%)	未記入	24	(18.2%)

#### ⑤その他

1 番目	5	(3.8%)	4 番目	3	(2.3%)
2 番目	5	(3.8%)	5 番目	46	(34.8%)
3 番目	2	(1.5%)	未記入	70	(53.0%)

### 4 町内会の再編について

ア 隣接町内会との合併を検討	3 / 132	(2.3%)
イ 町内会の分割を検討	0 / 132	(0.0%)
ウ 現在の町内会をそのまま継続	123 / 132	(93.2%)
エ その他	4 / 132	(3.0%)
※ 未記入	2 / 132	(1.5%)

### 5 地域（町内会）と学校とのかかわりについての意見・要望等

別紙「意見・要望」のとおり。

## III 考察

### 1 学校との連携及び共同事業の実施について

実施している事業の割合からは，交通安全指導，あいさつ運動，スクールガードが回答の約6割を占めており，登下校時の地域と児童・生徒との交流がうかがえる。

また、連携事業実施にかかる課題については、56%が特に課題はないとしており、課題があるとした内容については、各町内会で地域事情により様々な課題があることがわかる。

## 2 児童・生徒の教育の場以外の役割

学校は避難場所との回答が7割を超えている。地域の避難拠点との認識がうかがえる。

## 3 今後望ましい学校のあり方

地域の学校の存続について順番をつける設問だったため、高い割合を占める項目はなかったが、適正規模を満たさなくなった時点で学校を統合するが28.0%、児童生徒がいなくなるまで学校を存続させるが27.3%で1番目となっており、適正配置での対応か、地域の学校として最後まで存続かとする考え方がうかがえる。

## 4 町内会の再編について

現在の町内会を存続が93.2%を占めており、町内会の区域は現状のままとする考えがうかがえる。

## 5 地域（町内会）と学校とのかかわりについての意見・要望等

現状の学区、学区境のあり方や適正配置に対する考え方等、多くの意見・要望が寄せられ、感心の高さがうかがえる。スクールバスの確保等の意見もあり地域事情もうかがい知ることができる。

# IV まとめ

盛岡市小中学校適正配置基本方針にあるとおり、学校は地域にとって心のよりどころであるとともに、地域活動の拠点として機能している面がある。アンケート（意見交換会を実施した13町内会を含め）結果からも、地域と学校のつながりを大切にしながら、子どもたちにとってよりよい学校環境を実現するための適正配置計画の策定を望んでいることがうかがえる。

地域によっては、適正配置基本方針をそのままあてはめられない地域もアンケート等からうかがい知ることができ、地域の実情を勘案しながら、適正配置計画を策定する必要がある。

各町内会から寄せられた学区に関する個別の意見・要望等で、適正配置計画の策定にあたり、留意が必要な事項は以下のとおり。（意見交換会を実施した13町内会を含む。）

①町内会は仁王地区町内会に属するが、城南小学校の学区となっている。今一度学区と町内会の見直しを行政に求めたい。

②河北小学校の存廃について早急に取り組んでもらいたい。隣接する上田・桜城小への通学も容易である。存続する場合、健老施設や地域活動拠点施設等の融合施設として有効に土地建物を使用されたい。

③広域活動において、当町内会のみ河北小学区であり、行事参加等噛み合わないところがある。ただし、運営に支障が生じるものではない。

④・基本方針にある「学区と地域活動の区域は一致すること。」のとおりとすれば、当町内会の小学校区は青山小学校区が妥当ではないか。

・町内を1学校区になるようにするべきと考える。

⑤地区町内会の中で、大新小学校区で城西中学校区となっているところを除いては現状でよい。

⑥・上の橋町内会全体を下小路中学校区としてはどうか。

・今の学区境は生活圏とかみ合っていない。1地区町内会だけで決められない場所もある。

⑦北山トンネル開通で山岸六丁目から上田中学校への通学要望が出ている。

⑧加賀野字東桜山の一部が浅岸〇丁目と住居表示等が変更となり、将来的に町名で区割りするとなると、同じ町内で違う小学校（城南小と山岸小）となる。

⑨消防分団が地区町内会内で違うことに伴い、まつり行事等で子どもたちの地域活動の区域が違っている。

・下橋中が5小学校から通う生徒となっており、地域との一体感が薄れる状況である。

⑩当該町内会の太慈寺と杜陵小の児童の比率が3：2の割合。校区としては太慈寺。杜陵小に通う児童は子供会活動等に親も含め参加していない現状。町内会として子供会活動等への参加を働きかけにくい状況。中学校は同じ下橋中であるのに…。

⑪PTA事務局を真に保護者がやっているのは市内で米内小中学校だけである。教育振興運動も実践区としては抜きん出ている。前述2点を勘案して適正配置を検討してほしい。

菟川や外山小中学校が廃校の際は是非米内小中学校との統合をお願いしたい。

⑫南仙北二丁目に住居表示と学区境の整合が取れていない箇所がある。南仙北三丁目の盛岡高等職業訓練校跡地の宅地開発の進ちょくに合わせて学区の見直しが必要ではないか。

⑬・西太田第二町内会(太田小学区)では、指定校変更で太田東小に通う子が何人かおり、子ども会活動が円滑に行われない影響が出ている。

・太田小の保護者は将来的な危機感を感じ、競争心が薄れないよう太田東小へ指定校変更するという循環となり、太田小が益々廃れていっているようだ。スクールバス等通学手段の確保を含め、学校を巻き込んだ地域の活性化が図られる工夫を望む。

⑭児童数も減少しているが繫小学校は存続願いたい。繫中学校は将来生徒数がこれ以上減った場合統合もあると思う。

⑮門地区から中野小学校への通学時間が長いのではないか。

⑯スクールバスは地域の生活の足として定着しているが、児童生徒の減少により、運行されない地域への配慮が必要である。全庁的に検討願いたい。

⑰都南ニュータウン町内会で子ども会活動と小学校が違っている例がある。

⑱湯沢団地の小学校低学年生は1時間以上の通学時間となっている。スクールバス等交通機関の検討をお願いしたい。

⑲都南東小学校に統合してほぼ20年が経つが、未だ様々な問題を抱えている。地元の実情も斟酌され計画案を示されたい。

